

女子大学生の「日本語ピア・サポーター」による 外国人留学生への“寄り添い支援”「日本語コミュニティ」始動

京都光華女子大学/京都光華女子大学短期大学部（学長：高見 茂）では、受入れ強化を図っている外国人留学生への“寄り添い支援”のための「日本語コミュニティ」を新設。日本人学生の「日本語ピア・サポーター（以下、日本語ピアサポ）」による学習支援や居場所づくり等の充実したサポートで、外国人留学生の満足度を高める取り組みを始めました。

■外国人留学生の受入れ強化の再開

本学では「キャンパスのグローバル化」を推進するため、昨年度より外国人留学生の受入れ強化に取り組んでいます。外国人留学生の受け入れはコロナ禍で低迷していましたが、今春は9名（中国6名、韓国1名、スリランカ1名、インドネシア1名）の方々に入学いただき、今後さらに増加させていこうと計画しています。

強化に際してのサポート体制として、外国人留学生の日本語力・学力のさらなる向上と、友達づくり・居場所づくりを目的とした「日本語コミュニティ」を4月より新しく立ち上げ、日本人学生が「日本語ピアサポ」として支援にあたり、他大学にはない本学の規模ならではの寄り添った取り組みを行っています。外国人留学生がキャンパスに滞在することによる「環境型のグローバル化」と、外国人留学生と日本人学生の互いの語学力向上と、多文化に対する幅広い知見を深めていく「経験型のグローバル化」を目指します。

■「日本語コミュニティ」と「日本語ピア・サポーター」の役割とは？

「日本語コミュニティ」は週に2回開催され、外国人支援や海外に興味・関心のある上回生の学生で構成された「日本語ピアサポ」が、一緒に日本語学習や正課授業と連携した学習、課題・レポートに取り組み、外国人留学生の日本語能力と基礎学力の向上を図ります。さらに、学生生活での様々な相談にのり、交流を深めることで、外国人留学生の感じる「言葉・制度・心の壁」などの不安の解消にも努めます。また、同郷同士で過ごしがちな外国人留学生にとって、日本人学生とのネットワークづくりの場となり、日本人学生にとっても、多様な文化的背景を持つ留学生と触れ合うことで、国際的な視野を広げ、異文化理解が深まる学びの場となり、双方の勉学やキャンパスライフの充実に貢献するコミュニティです。



「日本語コミュニティ」の様子

■京都大学の教員による「日本語ピア・サポーター研修」を実施

5月22日（水）に日本語教育の専門家である京都大学の佐々木先生をお招きし、外国人留学生支援における困り事や疑問などの解消と、知っておくと良い知識や心構えなどを学び、質の高い支援につなげるための研修会を実施します。

16:10～日本語コミュニティ開始 16:40頃～先生による観察、留学生支援のモデリング等
17:10 日本語コミュニティ終了 17:10～18:10 日本語ピアサポ研修

報道各社におかれましては、ぜひ、この活動について、ご取材いただきますようお願い申し上げます。

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学/短期大学部 入学・広報センター 担当：川島

[TEL] 075-312-1899 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp [URL] <https://www.koka.ac.jp/>